

## (臨床研究に関する公開情報)

岡山医療センターでは、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

## [研究課題名]

透析患者における脊椎手術の術後成績、合併症についての検討

## [研究責任者]

整形外科 医師 篠原 健介

## [研究の背景]

本邦において透析患者が増加傾向にあることは知られています。透析患者において脊椎は進行性破壊病変を罹患しやすく、その脊椎疾患に対して、保存的治療に抵抗性の症例では手術加療が行われているが、その合併症の高さは非透析患者と比較し有意に高いのが現実である。しかしながら、透析患者における手術加療での注意点、合併症対策は明らかではなっていない。透析患者は今後も本邦において増加していくと思われる、脊椎疾患に罹患、手術加療が必要となる患者も増加すると考えられる。その手術加療に対して安全な手術を提供し、可能な限り術後合併症を減少させるためにも、過去の手術症例を振り返り、術後成績の検討、合併症対策を見出し、その予後の改善に寄与することは急務であり意義は深いものと考えています。

## [研究の目的]

当院において脊椎手術を受けた透析患者に対して、手術方法、術後の成績、また追加手術、術後合併症の現状を調査し、術後の機能的回復・予後を検討することを目的としております。

## [研究の方法]

## ●対象となる患者さん

西暦 2005 年 4 月 1 日から 2020 年 3 月 31 日の間に脊椎手術を行った透析を受けている方

## ●研究期間：

当院の臨床研究審査委員会承認後、研究実施許可日から西暦 2020 年 10 月 30 日

## ●利用する検体、カルテ情報

用する検体：利用しない

カルテ情報：下記の情報を収集します。

## ・患者さんの基本的な情報

(性別、身長、体重、既往歴、受傷前及び退院時の生活場所、歩行能力、透析条件な

ど)

• 臨床情報

(診断確定日、診断名、治療方法、治療薬など)

• レントゲン検査、CT 検査、MRI 検査など画像検査

(腰椎変性、脊柱管の状態、骨癒合の有無など)

• 血液検査結果

(白血球、ヘモグロビン、CRP など)

• 理学療法評価

(動作能力、手術前後の神経症状の変化など)

● 検体や情報の管理

検体や情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

【研究責任者】

岡山医療センター 整形外科 医師 篠原 健介

【研究分担者】

岡山医療センター 整形外科 竹内 一裕

岡山医療センター 整形外科 廣瀬 友彦

[個人情報の取扱い]

検体や情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。検体や情報は、当院の研究責任者 整形外科 廣瀬 友彦が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

岡山医療センター 整形外科

〒701-1192 岡山市北区田益1711-1

電話：086-294-9911

研究代表者：整形外科 医師 篠原 健介